



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
 TEL 077-525-5232
 TEL 077-521-2775
 FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/~ffs/>
 E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

新年 謹賀

「一年」政治の国で民意



和邇浜の元旦（澤井）

職場の労働条件改善と 銀行の社会的責任を 問う観点の活動に

滋賀銀行従業員組合
 執行委員長 中島 康隆

新年明けましておめでとうございます。今年も昨年同様に職場の労働条件改善や、当行が地域金融機関として、昨年一年を表す漢字は

「新」でした。米国でオバマ新政権がスタートし、日本でも自公政権から民主党を中心とする連立内閣に変

●リスク商品の販売は顧客ニーズより、時代の流れでやむを得ないと思いが、毎年目標が大きくなり精神的に厳しく感じています。終わりが無いのが不安です。

また、銀行員としてニーズに応じて販売すべきだと思っていますが「ニーズを把握せず目標追求」と言うような追い切りはモチベーション低下につながると思います。

●チャレンジシートの目標は、支店長の独断で決められて選択の余地がありません。

結果ボーナスは下がりました。しかし支長はメ

職場の声

リットだけで〇〇〇万円もありました。

仕組みも納得できないし貧富の差が大きすぎると思います。

●育成ノートの主旨は理解できますが、面接の時の自分の意見がとも言える状態ではありません。

指導と言うものにはほど遠いです。生活がかかっているお金（給料）を下げるための賃金のシステムだと思っています。



当の変化、国民が報われる変化にならないからです。その点では選挙前に公約していたマニフェストを実行できないことを国民がどう捉えて評価するのか、それも大切だと思います。昨年は民意で政治を変えられることを国民の多くが理解したのが何よりの変化だと思います。

本質を見据え 運動の広がり 追求したい

組合運動も、原則的に進めていくことは同じで、その点では変わった点はありませんが、本質を見抜いてそれをみなさんにお知らせする、訴えかけるそういう観点で進めていきたいと思っています。不十分ながらも、今年も組合に精一杯取り組んでいく決意と、改めてみなさんのご協力をお願い申し上げます。年初のあいさつとさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

いのちの格差があつてはならない

1月7日映画「いのちの山河」が上映され組合員と年金者部会の方が沢山参加されました。

この映画は、長く無医村であった岩手県山あいの沢内村で61年に全国の先駆けとなった「老人と乳児の医療費無料化」を実現した深沢晟雄村長の話である。

父・晟訓から医者になることを期待されつつも村を離れていた深沢晟雄は、妻・ミキと帰郷し、



「生命尊重」の理念を掲げ、憲法25条を盾に、当時は国保法違反であった老人と乳児の医療費無料

化に踏み切る。そして全国でも最悪だった乳児死亡率を、全国初の死亡率ゼロへと導く。この「生命行政」を実現するには、晟雄と村民たちの奮闘の日々と数々の

▲新品のブルで除雪がすむ、乳児死亡ゼロを達

